

## 第 49 回日本原生生物学会大会

### 口頭発表

異なるセルラーゼ活性を示す培養条件におけるラビリントウ類の外質ネットの形態比較

○岩田 いづみ<sup>1,2</sup>・本多 大輔<sup>2,3</sup>

<sup>1</sup>甲南大 院 自然科学, <sup>2</sup>甲南大 統合ニューロ研, <sup>3</sup>甲南大 理工

黒潮域に生息する大型単細胞動物プランクトンの分布, 生態および系統関係

○仲村 康秀<sup>1</sup>・宗宮 麗<sup>2</sup>・辻 彰洋<sup>1</sup>・堀 利栄<sup>3</sup>・鈴木 紀毅<sup>4</sup>

<sup>1</sup>国立科学博物館 植物, <sup>2</sup>長崎大 水産 環境科学総合, <sup>3</sup>愛媛大 院 理工, <sup>4</sup>東北大 院 理

実験培養系における藻類-繊毛虫細胞内共生の進化とこの共生系の安定に必要な系外の資源

西窪 健太・○中島 敏幸

愛媛大 院 理工

共生藻を持つラッパムシ, *Stentor pyriformis* の生息域調査とその培養法の開発

○月井 雄二

法政大 自然科学センター

スピロストマムにおける再生

○島田 真帆・早川 昌志

大阪府立豊中高等学校

日本におけるトキソプラズマの分子系統と病原性

福本 隼平<sup>1,2</sup>・山野 安規徳<sup>1,2</sup>・佐倉 孝哉<sup>1</sup>・松原 立真<sup>1,2</sup>・○永宗 喜三郎<sup>1,3</sup>

<sup>1</sup>国立感染症研究所 寄生動物, <sup>2</sup>筑波大 院 生命環境, <sup>3</sup>筑波大 生命環境系

赤痢アメーバにおけるペルオキシレドキシシンの局在と機能

吉田 和弘<sup>1</sup>・牧内 貴志<sup>1</sup>・風間 真<sup>1</sup>・福西 菜穂子<sup>2</sup>・○橘 裕司<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東海大 医 基礎医学系 生体防御, <sup>2</sup>東海大 生命科学統合支援センター

赤痢アメーバにおけるオルガネラ移植法確立と退縮ミトコンドリアの品質管理機構

○風間 真<sup>1</sup>・荻原 早苗<sup>2</sup>・牧内 貴志<sup>1</sup>・吉田 和弘<sup>1</sup>・津久井 久美子<sup>3</sup>・野崎 智義<sup>3,4</sup>・橘 裕司<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東海大 医 基礎医学系 生体防御, <sup>2</sup>東海大 生命科学統合支援センター, <sup>3</sup>国立感染研 寄生動物, <sup>4</sup>筑波大 院 生命環境

タイの三日熱マラリア原虫株における MSP-9 の多型解析と組換え型 C 末端の免疫原性解析

○ソンサイゲー スニサー<sup>1,2</sup>・牧内 貴志<sup>1</sup>・プタポーントンティップ チャタロン<sup>2</sup>・

ジョンウーチュエス ソムチャイ<sup>2</sup>・橘 裕司<sup>1</sup>

<sup>1</sup>東海大 医 基礎医学系 生体防御, <sup>2</sup>チュラロンコン大 医 寄生虫学

繊毛虫 *Blepharisma* の異なる megakaryotype 間での異種間接合

○杉野 亜優<sup>1</sup>・杉浦 真由美<sup>2</sup>・春本 晃江<sup>2</sup>

<sup>1</sup>奈良女子大 院 生物科学, <sup>2</sup>奈良女子大 研究院 自然科学系

繊毛虫ブレファリズマにおいてガモン 2 生合成に関与する新規 IDO の同定

○杉浦 真由美<sup>1</sup>・湯浅 創<sup>2</sup>・春本 晃江<sup>1</sup>

<sup>1</sup>奈良女子大 研究院 自然科学系, <sup>2</sup>高知大 理 応用理学

テトラヒメナの有糸分裂と減数分裂における染色体の行動

○菅井 俊郎・沼田 治

筑波大 生命環境系

ゾウリムシの生活環相転移を制御する「イマチユリンーカルシウムイオン」仮説

○芳賀 信幸  
石巻専修大 理工

Grl1 (Granule lattice protein 1) はテトラヒメナの K 抗原の候補タンパク質である

○太田 隆英  
金沢医大 総医研 生命科学 腫瘍生物

*Lacrymaria olor* のプロボースの収縮に関わる因子の探索

○梁瀬 隆二・吉久 徹・園部 誠司  
兵庫県立大 院 生命理学

*Tetrahymena* の走流性に関する研究

○西上 幸範・大村 拓也・市川 正敏  
京都大 院 理

*Blepharisma hyalinum* の表層顆粒の機能の探索

○田村 望<sup>1</sup>・杉浦 真由美<sup>2</sup>・春本 晃江<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>奈良女子大 院 生物科学, <sup>2</sup>奈良女子大 研究院 自然科学系

繊毛虫テトラヒメナのキネシン-14 は減数分裂の染色体分配制御に関与する

榎田 康晴<sup>1,2</sup>・高稲 正勝<sup>1,3</sup>・中野 賢太郎<sup>1</sup>・菅井 俊郎<sup>1</sup>・Krishna Kumar Vasudevan<sup>4</sup>・Mayukh Guha<sup>4</sup>・  
u-yang Jiang<sup>4</sup>・Jacek Gaertig<sup>4</sup>・○沼田 治<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>筑波大 生命環境, <sup>2</sup>群馬大 生調研 細胞構造, <sup>3</sup>群馬大 未来先端研究機構, <sup>4</sup>ジョージア大 細胞生  
物

緑藻類クラミドモナスの鞭毛に存在する EF-hand motif を持つ新規タンパク質 FAP85 の調査

○桐間 惇也<sup>1</sup>・小嶋 寛明<sup>2</sup>・大岩 和弘<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>兵庫県立大 院 生命理学 ピコバイオロジー, <sup>2</sup>情報通信研究機構 未来 ICT 研

## ポスター発表

自由生活性のクロレラを餌としたミドリゾウリムシの増殖

○岩井 草介・福土 皓太  
弘前大 教育

16S rDNA 配列を用いたミドリゾウリムシ培養液中に存在する菌類の簡易同定法

○氷見 英子  
岡山大 資源植物科学研究所

繊毛虫テトラヒメナの半数体核に生じる DNA 二重鎖切断とメカニズム

○福田 康弘<sup>1</sup>・明松 隆彦<sup>2</sup>・Ronald E. Pearlman<sup>3</sup>・多田 千佳<sup>1</sup>・Josef Loidl<sup>2</sup>・中井 裕<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東北大 院 動物環境システム, <sup>2</sup>Dept. Chromosome Biol., Univ. Vienna, Austria,  
<sup>3</sup>Dept. Biol., York Univ., Canada

ガス内物化学反応のパラメーターを温度とすると、酵素反応のそれは基質濃度

○浅井 博  
早稲田大 理工学総合研究センター

ミドリゾウリムシの大量培養法 ～バイオエタノールの製造を目指して～

○遠藤 稚子・森下 美穂  
金光学園中学・高等学校

ミドリゾウリムシ共生クロレラにおけるマルトース合成誘導とその輸送特性について  
○柴田 あいか<sup>1</sup>・高橋 文雄<sup>2</sup>・笠原 賢洋<sup>2</sup>・今村 信孝<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>立命館大 院 生命科学, <sup>2</sup>立命館大 生命科学 生物学, <sup>3</sup>立命館大 薬 薬

*Teranympa* 属原生生物と宿主シロアリの共種分化  
○清水 大地<sup>1</sup>・北出 理<sup>2</sup>・雪 真弘<sup>3</sup>・大熊 盛也<sup>3,4</sup>・野田 悟子<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>山梨大 生命環境, <sup>2</sup>茨城大 理, <sup>3</sup>理研 BMEP, <sup>4</sup>理研 JCM

キイロタマホコリカビにおける柄/胞子分化および他系統認識の進化の理論研究  
○内之宮 光紀  
理化学研究所

ミドリゾウリムシへ共生するクロレラの細胞壁の微細構造と化学組成の変化  
○樋口 里樹<sup>1</sup>・ソン チホン<sup>2</sup>・洲崎 敏伸<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>神戸大 院理 生物, <sup>2</sup>生理学研究所

纖毛虫コルポーダ *Colpoda cucullus* における休眠シスト壁形成に関する研究  
○舟谷 亮二<sup>1</sup>・十亀 陽一郎<sup>1</sup>・小嶋 克彦<sup>2</sup>・竹下 敏一<sup>2</sup>・山本 圭祐<sup>1</sup>・辻園 智哉<sup>1</sup>・水津 太<sup>3</sup>・宮田 清  
司<sup>4</sup>・矢生 健一<sup>5</sup>・鈴木 知彦<sup>6</sup>・有川 幹彦<sup>1</sup>・松岡 達臣<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>高知大 理 生物科学, <sup>2</sup>信州大 医 免疫 微生物, <sup>3</sup>北海道大 遺伝子病制御研究所  
病態研究部門, <sup>4</sup>京都工芸繊維大 応用生物, <sup>5</sup>高知大 総合研究センター, <sup>6</sup>高知大 理 生化学

ハリタイヨウチュウにおける  $\beta$ -1,3-グルカンを介した餌の認識に関わる分子の探索  
○小林 真弓・Mousumi Bhadra・洲崎 敏伸  
神戸大 院理 生物

宍道湖・中海における原生生物の種組成と水質変動との関連性  
○河原 由香里<sup>1</sup>・児玉 有紀<sup>2</sup>・石田 秀樹<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>島根大 生物資源科学 生物生命, <sup>2</sup>島根大 生物資源科学 生物科学

*Actinophrys sol* の有糸分裂阻害剤に対する薬剤感受性の検討  
○松井 祥悟<sup>1</sup>・池田 理佐<sup>2</sup>・安藤 元紀<sup>1,2</sup>  
<sup>1</sup>岡山大 院教育 細胞生理, <sup>2</sup>岡山大 院環境生命 動物生理

---

## 大会シンポジウム

### 『原生生物学の進展と理科教育への可能性』

原生生物の運動機構研究から見えてくる生命の原理  
○園部 誠司<sup>1</sup>・西上 幸範<sup>2</sup>・谷口 篤史<sup>3</sup>・山岡 望海<sup>1</sup>・小橋川 剛<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>兵庫県立大 院 生命理学, <sup>2</sup>京都大 院 理, <sup>3</sup>基生研 時空間制御

理科教育の歴史から見た原生生物の教材の展望  
○藤井 浩樹  
岡山大 院教育 理科教育

中等教育における原生生物の取り扱い ～原生動物を中心に～  
○丸岡 禎  
元香川県立高等学校生物教員

中高一貫校での生命科学教育における原生生物の取り扱い及び今後の展望  
○田中 福人  
清心女子高等学校 SSH 主任

日本原生生物学会で発表された研究課題と理科教育との関わり：学習指導要領の理科-生命領域のコンテンツマップを指標として

○池田 理佐<sup>1</sup>・安藤 元紀<sup>1,2</sup>

<sup>1</sup>岡山大 院環境生命 動物生理, <sup>2</sup>岡山大 院教育 細胞生理

原生生物学の裾野を育てる ～原生生物マニアを増やそう！～

○月井 雄二

法政大 自然科学センター

#### **日本原生生物学会学会賞受賞 特別講演**

マラリア原虫感染に対する宿主免疫機構

○小林 富美恵

杏林大 医 感染症学 寄生虫学

#### **日本原生生物学会教育賞受賞 特別講演**

微小生物の魅力を伝える琵琶湖博物館

○楠岡 泰

琵琶湖博物館

#### **日本原生生物学会奨励賞受賞 特別講演**

原生生物の認知度向上と教育分野への利活用

○末友 靖隆

岩国市ミクロ生物館